

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-770	14-019	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol consumption and risk of atrial fibrillation: a prospective study and dose-response meta-analysis. アルコール摂取と心房細動リスク：前向き研究及び用量反応メタ解析		
執筆者		
Larsson SC, Drca N, Wolk A.		
掲載誌		
J Am Coll Cardiol. 2014 Jul 22;64(3):281-9. doi: 10.1016/j.jacc.2014.03.048.		
キーワード		PMID
アルコール、心房細動、メタ解析、前向き研究、危険因子		25034065
要 旨		
目的： 多量のアルコール摂取は心房細動リスクを上昇させることが知られているが、軽度または中等度の飲酒と心房細動との関連は未だ明らかではない。そこで、スウェーデン人男女を対象とした前向き研究及び前向き研究のメタ解析を用いて、アルコール摂取と心房細動リスクの関連について検討した。		
方法： ベースライン時に心房細動の既往がなく、アルコールや慢性疾患の危険因子の質問票に欠損がなかった79,019人の男女を追跡した。心房細動の症例は、スウェーデンの入院患者登録を用いて確認した。メタ解析は、PubMedを用いて2014年1月10日までの関連文献を調査した。研究ごとの相対危険度はランダム効果モデルを用いて統合した。		
結果： 本前向きコホート研究では、859,420 人年(1998～2009 年)に 7,245 人の心房細動発症を認めた。アルコール摂取と心房細動の関連は性差を認めなかった (p for interaction = 0.74)。心房細動の多変量調整相対危険度は、週に 1 杯未満(1 杯あたりアルコール 12g)の飲酒者を基準としたとき、週 1～6 杯の飲酒者では 1.01(95%信頼区間(CI) 0.94～1.09)、週 7～14 杯の飲酒者では 1.07 (95%CI 0.98～1.17)、週 15～21 杯の飲酒者では 1.14 (95%CI 1.01～1.28)、週 21 杯以上の飲酒者では 1.39 (95%CI 1.22～1.58)だった。過度飲酒者(1 機会に 5 杯以上の飲酒)を除外して検討しても結果は同様であった。メタ解析は、合計 12,554 件の心房細動の症例を含む 7 つの前向き研究を採用して検討した。非飲酒者を基準としたとき、心房細動発症の相対危険度は、週 1 回の飲酒者で 1.08 (95%CI 1.06～1.10)、週 2 回の飲酒者で 1.17 (95%CI 1.13～1.21)、週 3 回の飲酒者で 1.26 (95%CI 1.19～1.33)、週 4 回の飲酒者で 1.36 (95%CI 1.27～1.46)、週 5 回の飲酒者で 1.47 (95%CI 1.34～1.61)だった。		
結論： 本研究における知見は、アルコール摂取が中等度の飲酒でさえも心房細動の危険因子であることを示唆した。		